

令和8年度 第1回越前市環境審議会

計画改定の背景・方向性、骨子(案)

2026/8/21
越前市 環境農林部 環境政策課

1. 計画改定について

- ▶ 今年度の環境基本計画の計画期間満了に伴い、次期環境基本計画への改定についてご議論をお願いいたします。
- ▶ スケジュール、方針は以下のとおりとなります。

スケジュール	
時期	内容
8月21日(本日)	第1回環境審議会 ①計画改定の背景・方向性 ②計画骨子(案) ③市民・事業者アンケート(案)
8月下旬～10月	アンケート準備・発送、 回答期間(約3週間)、結果分析
11月上旬～中旬	第2回環境審議会 ①アンケート結果 ②計画素案 ③概要版(案)
12月	パブリックコメント(約1カ月)
1月中旬～下旬	第3回環境審議会 ①パブコメ意見・対応方針 ②対応方針を踏まえた計画(案)
3月下旬	市長答申

- | 方針 |
|--|
| ▶ 令和6年度第1回越前市環境審議会でお示した内容(下図)を踏まえ、次期計画の計画期間は2027(R9)～2030(R12)年度の4年間とします。 |
| ▶ また、2030(R12)年度には次々計画検討が控えていることから、本改定では特に動きが大きい「基本方針1 脱炭素社会の実現に向けた都市づくり」に重点を置いた改定を行います。 |



2. 計画改定の背景(環境政策の動向)

- ▶ 現行計画策定時(2021年度)以降の、環境政策の動向は以下となっています。
- ▶ 地球温暖化対策計画の改定(2035・2040年度目標の設定)・排出量取引制度の本格稼働など、特に脱炭素分野で様々な動きが見られます。

時期	国の環境政策の動向				本市の動き (特に脱炭素)
		脱炭素	資源循環	生物多様性	
2021 (R3) 年度	-	・地球温暖化対策計画 改定 ⇒2030年度▲46%目標設定	-	-	・越前市ゼロカーボンシティ宣言 ・越前市環境基本計画 改定 ⇒脱炭素に向けた動きを本格化
2022 (R4) 年度	-	・地球温暖化対策法 改正 ⇒促進区域の指定等	・プラスチック資源循環 促進法 施行 ⇒プラスチックの資源 循環を総合的に推進	・生物多様性国家戦略 2023-2030 ⇒ネイチャーポジティブ 実現に向けたロードマップ	・区域施策編を内包した越前市環境基本計画を基に、 再エネ・省エネ施策を推進
2023 (R5) 年度	-	・GX推進法成立 ・GX推進戦略・基本方針 策定 ⇒炭素税の導入、再エネ・省エネ の推進	-	-	・越前市カーボンニュートラル推進協議会 設立 ⇒官民連携で脱炭素を支援 ・～2025(R7)年度の3年間で、全市有施設LED化を 実施。環境価値をクレジット化。 ⇒クレジット収益を事業者の脱炭素経営支援へ活用
2024 (R6) 年度	・第六次環境基本計画 ⇒ウェルビーイングが 目的に組み込まれる ⇒循環共生型社会、 共進化を提唱	・GX2040ビジョン 策定 ・第7次エネルギー基本計画 改定 ・地球温暖化対策計画 改定 ⇒2035年度▲60% 2040年度▲73% 目標設定	・第五次循環型社会形成 推進基本計画 ⇒国家戦略としての循 環経済を位置づけ	・ネイチャーポジティブ経済 移行戦略策定 ⇒企業のネイチャーポジ ティブ経営を促進	・環境省重点対策加速化事業 採択(～2028(R10)年度) ⇒公共施設だけでなく、市民・事業者の脱炭素を推進 ・アイシンスポーツアリーナがゼロカーボンアリーナに (北陸初) ・越前市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)改定 ⇒2030(R12)年度▲41%以上(2016(H28)基準)
2025 (R7) 年度	-	・改正GX推進戦略 ⇒排出量取引制度 本格稼働 直接排出量10万tの企業に参 加義務	・サステナブルファッショ ンの推進に向けたアク シヨンプラン 策定	・地域生物多様性増進法施 行 ⇒自然共生サイトを法制 化	・白山小学校・南中山小学校のプールへ太陽光発電設 備導入 ・パーキー・ハウスに太陽光発電・カーボンオフセットLP ガスが導入される ・あいぱーく今立の太陽光発電が本格稼働し、ゼロカー ボン・複合施設に ・環境省認定制度 脱炭素アドバイザー資格取得支援

3. 計画骨子(案)

▶ 以上を踏まえ、

- 現行計画から目次等の構成は修正せず、基本方針1について施策等を検討・見直し、
- それ以外の項目については、時点更新等の必要な修正を実施していきます。

※現行計画と合わせてご覧ください

目次(現行計画)

第1章 計画の基本的事項 1

1 計画改定の背景	1
2 計画の目的	1
3 計画の位置付け	2
4 計画の期間	2
5 越前市の概要	3

第2章 計画の理念と目標 5

1 基本理念	5
2 目指す環境像	5
3 SDGsと環境基本計画	6
4 計画の体系	7

第3章 施策の展開 9

基本方針1 脱炭素社会の実現に向けた都市づくり	11
基本方針2 水や空気がきれいな安心安全が実感できるまちづくり	24
基本方針3 コウノトリが舞う自然豊かなまちづくり	29
基本方針4 資源が循環するごみの少ない都市づくり	35
基本方針5 環境共育で環境を守り育むまちづくり	41

第4章 計画の推進 47

1 計画の進捗管理	47
2 計画の推進体制	48

改定の方針性

▶ 部分:以下の内容等、時点更新を中心に修正

- 国・県・市の関連計画の更新
- 人口・土地利用等の時点更新や、北陸新幹線・越前たけふ駅の開業等の反映
- (基本方針2～5)各施策の現状を反映

▶計画年度については、2027(R9)～2030(R12)年度に修正

▶審議会やアンケートにていただいたご意見を反映したフレーズとします。

▶(現行:水きらめき 緑そよぐ 地球にやさしいまち 越前市)

→(例:水きらめき 緑そよぐ 未来へつなぐ環境にやさしいまち 越前市)

▶SDGsは環境に留まらないより上位の幅広い概念であることから、以下の修正を想定

- 3 SDGsと環境基本計画 ⇒削除
- 4 計画の体系 ⇒「関連するSDGs」を削除

▶審議会やアンケートにていただいたご意見を反映したフレーズとします。

(例:基本方針1 カーボンニュートラルに向けたまちづくり)

▶次ページでご説明

3. 計画骨子(案)-基本方針1

- ▶ 「基本方針1 脱炭素社会の実現に向けた都市づくり」については、重点的な改定を検討しています。
 - ▶ 現行計画の該当箇所(P11～23)での修正内容は以下を想定しています。
- ※現行計画と合わせてご覧ください

ページ番号	項目	改定の方針
P11～13	(1)現状	・地球温暖化対策の動向を反映 ・排出量・吸収量算定結果を反映
P14	(2)これまでの取組	・2022(R4)年度以降の取組を追加
P14	(3)課題	・排出量算定結果やアンケート結果を踏まえ修正
P15～22	(4)施策	・(3)課題等を踏まえ、検討・修正 ・太陽光以外の再エネ(水力など)の可能性も模索していく
P23	(5)指標	・2030(R12)年度の削減目標等に修正

●施策1 再生可能エネルギーの普及推進

指標名	単位	基準値 (基準年)	目標値 (目標年)	指標選択理由	目標水準設定理由
太陽光発電設備設置件数	件/年	23 (R2)	35 (R8)	太陽光発電設備の設置状況を示します。	基準年から約5割増を目指します。

●施策2 地球温暖化防止に向けた取組みの推進

指標名	単位	基準値 (基準年)	目標値 (目標年)	指標選択理由	目標水準設定理由
越前市の二酸化炭素排出量	千t -CO ₂	1,460.8 (H30)	1,037.2 (R8)	脱炭素社会実現に向けた市の取組み成果を示します。	基準年比29%削減を目指します。
市施設におけるエネルギー消費原単位*削減率(学校・公民館等を除く)	%	100 (R2)	94 (R8)		令和2年度を基準として毎年1%の削減を目指します。
電気自動車・燃料電池自動車補助件数	件/年	10 (R2)	20 (R8)	電気自動車及び燃料電池自動車の導入状況を示します。	基準年から倍増を目指します。

2030(R12)年度目標に修正

本項目を地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に位置付けるとともに、本市のエネルギービジョンとしても位置付け、2050年カーボンニュートラルに向けた中間目標年度である2030年度以降の地球温暖化対策の基本指針を考えていきます。

第2回環境審議会で、特に基本方針1に重点を置きつつ、全体計画素案のご議論をお願いいたします。

令和8年度 第1回越前市環境審議会

アンケート概要

2026/8/21
越前市 環境農林部 環境政策課

アンケート(案)について

- ▶ 市民及び事業者へアンケート調査を実施することにより、本市の環境に関する意識や環境に配慮した取組の実施状況、意識の変化を把握し、計画に反映させます。
- ▶ アンケート概要・スケジュールは以下を想定しています。(アンケートについては、資料1-2のとおり)

アンケート概要		
	市民向け	事業者向け
対象者数 (無作為抽出)	1,000人	200事業所
調査票	- 基本的には、現行計画策定時のアンケートを踏襲しつつ、 - 地球温暖化対策についての項目にて、市民・事業者向けの支援についての設問を追加	
回答期間	約3週間	
回答方法	Web(QRコード) 又は返信用封筒による郵送	

今後のスケジュール	
▶ 8月21日(本日)	第1回環境審議会
▶ 8月下旬	ご指摘踏まえて修正
▶ 9月上旬	準備・発送
▶ ~10月上旬	回答期間(約3週間)
▶ 10月中~下旬	結果分析
▶ 11月上~中旬	第2回環境審議会